

ひまわり



編集・発行 茨城県児童館連絡協議会

東茨城郡大洗町磯浜町8249-4 茨城県立児童センターこどもの城内
電話 029-266-3044 FAX 029-266-3045
E-mail:kodomo@crux.ocn.ne.jp http://www.kodomonosiro.jp/

「子どもの成長における遊びの役割」

茨城県保健福祉部
子ども政策局少子化対策課
課長 高橋 光義



春の日差しが暖かいこの季節、子どもたちにとっても、散歩や外遊びがこれまで以上に楽しい季節となってきました。

思いっきり体を動かすことは、免疫力を高め、運動神経の発達や体力作りにも効果的です。

また、予想できないことが多くある外遊びでは、ルールに捉われない創造性や柔軟性が育まれます。初めての経験でも次々に対処を考える、そんなふうの外遊びを楽しむ中で、子どもたちは自身に価値と自信を見出すことができるとも言われています。

子どもたちの成長や発達を促す上で欠かせることのできない大切な要素は「遊び」であり、児童館は健全な遊びを提供し、その心身の健康を増進し情操を豊かにする役割を担っています。

成長のため、今後も地域福祉施設の拠点として、各児童館の特性を活かした取組がますます発展していくことを心より期待しております。

人形劇がつなぐ輪

北守谷児童センター(キ・タレレ)
館長 山宮 文昭

八月二十四日「ガイ氏人形劇場」がキ・タレレにやってきました。

演目は、第一部「人形ファンタジー」第二部「ぶす」の二部構成です。第一部はワークショップが行われ、モールに紙の蝶を付け、生き生きと羽をはばたかせる動きを教わりました。子どもたちは、すつかり蝶になりきり、人形劇の世界に引き込まれていきました。

第二部の「ぶす」では、子どもたちそれぞれが、狂言の人の形に感情移入し、全身で楽しむ



むことができました。

人形劇が盛況のうちに終了すると、これまでの準備や苦労がすつと消え、深い達成感を感じました。それは、人形劇を通じて小さなお子さんから親御さんや祖父母の皆さん、さらには地域の障がい者施設の方たち、職員・中学生ボランティア、そして、劇団員の皆さんという大きな輪ができ、たのしい時間を過ごせたからです。常々、児童館は地域の中で活かされてこそ、より成長するものと考えております。今回のイベントを通して、キ・タレレがまた一歩大きく伸びた気がします。

これからの様々な機会を活かし、子どもたちの笑顔のために努めていきたいと思っております。



「ガイ氏即興人形劇場」

「地域とのふれあい」を大切に

つくば市立小田児童館

館長 荻野谷 貞一

つくば市立小田児童館は、つくば市の中心地区から北東へ約十二km離れた小田地区に位置し、昭和四十六年に設立された歴史ある児童館であり、また、当館のすぐ脇には史跡である小田城跡と数多くの名所旧跡が存在し、まさに歴史と自然豊かな場所にあります。

この利用は低学年が多く、とても明るく素直な子どもたちであり、職員は「子どもたちと楽しく」をモットーに、毎日楽しく遊びながら感性や創造性等を養い成長していけるよう指導しております。また、子どもたちが喜ぶ行事を毎月開催するなど、とても楽しい雰囲気の中で過ごしております。

秋の「小田児童館まつり」では、地域とのふれあいと関わり合いを大切に母親クラブや小田地区の方々からのご協力をいただき開催していることが大きな特徴であり、毎年多くの皆様から喜ばれ大変好評を得ております。

これからも、子どもたちの健全育成と地域の皆様とのふれあいを図ると共に、楽しく遊びに来てもらえるような児童館づくりをしていきたいと思ひます。



親しまれる児童館をめざして

土浦市立ポプラ児童館

館長 根本 洋子

土浦市内には三箇所の児童館があります。その中でポプラ児童館は平成十七年に開設された新しい児童館です。開設から十二年が経ち地元にも定着し、たくさんのお乳幼児や小学生が来館しています。

最近では近隣の市町村からの利用者も増加しています。図書室、集會室、制作活動室、プレイルームがあり集會室は全面畳になっていて、赤ちゃん連れのお母さんには「安心して遊ばせることができる」と好評です。午前中の活動は乳幼児親子が対象で、職員が行うリズム・ゲーム・読み聞かせ・親子制作の他に、ベビーマッサージや親子ビクス・英語であそぼうなど講師をお願いしている講座もあり、毎回たくさんのお母さんが楽しみながら参加しています。小学生対象としては、一輪車・書道・絵画・将棋の各教室やヒップホップ・フラワーアレンジメントなども取り入れてあります。

今後もあたたかく、明るい雰囲気大切に、親しまれる児童館を目指していきたいと思ひます。



「地域に育てられている」

つくば市立吾妻東児童館

館長 松本 弘道

つくば市立吾妻東児童館は、昭和五十九年に開設した、小学校から1kmほど離れた場所にある児童館です。

隣接して公園があるため、天気の良い日は公園で、雨の日は遊戯室で、子どもたちは思いきり体を動かすことができます。

また、本児童館は地域の方々にて育てられている点も特徴です。母親クラブ、児童クラブの父母会が、茶道体験や落語会などの行事や公園の安全点検等で活躍されています。

また、ボランティアによる、大型かみしばい、囲碁教室、筑波大学蹴球部員によるサッカー体験等も開催されます。

秋の児童館まつりには、地域の子ども会や有志の方々も参加し盛り上がりまます。

子どもたちには、地域の一員であることの自覚を持つよう、また、児童館ならではの異学年交流を通じて、高学年生はリーダーシップを、低学年生にはフォロワーシップを身に付けるよう、見守っていききたいと思ひます。



中学生の声

美浦村立木原城山児童館
美浦村立美浦中 二年 黒田 愛莉



私は、二年前まで児童館に通っていました。

私にとって児童館での思い出は、大きく分けて二つあります。

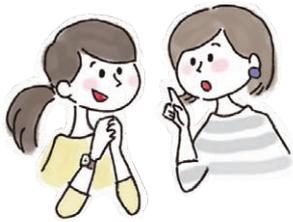
まず一つ目は、六年間児童館に通ってみて、いい先生ばかりだったということですね。高橋館長先生をはじめ

めとした、たくさんの方々が協力し、児童二人一人を楽しませようと二生懸命に遊びを考えてくれました。おかげで六年間楽しく通うことができました。

二つ目は、こどもの城での合同宿泊体験です。大谷、安中、木原の三つの小学校はあまり交流することがないので、今でも思い出に残る体験でした。

私は今でも、中学校のボランティア活動などを通じて児童館に行っています。児童館を二年前に卒業した私を、向日葵のような明るい笑顔で迎えられる木原城山児童館の先生方が私は大好きです。

これからもボランティア活動などを通じて児童館に遊びに行きたいと思えます。



小学生の声

茨城県立児童センターこどもの城
ひたちなか市立高野小 五年 岩崎 樹乃空

こどもの城には保育園生の頃からよくお父さんと一緒に遊びに行っています。お父さんとはあまり休みが合わないけれど、休みが合うときにはいつも連れで行ってきます。

たくさんのお父さんがある中で僕のお気に入りの遊びは、バスケットにバドミントンと卓球です。小さい頃は父さんと勝負をしても負けてばかりでしたが、最近では勝てることも多くなりました。お父さんは僕が強くなったと褒めてくれますが、僕はお父さんが若い頃より体力が落ちてきたのだと思います。けれど、いつも汗びっしょりでたくさん遊んでくれるお父さんが僕は大好きです。

職員の方たちもやさしく話しかけてくれたり、短距離走と一緒に練習してくれた楽しい思い出がたくさんあります。

家からは遠いので一人では遊びに行けません。中学生になったら友達と自転車でも遊びに行きたいです。



中学生の声

北守谷児童センター(キ・ターレ)
守谷市立御所ヶ丘中 一年 吉野 冬夢

北守谷児童センター(キ・ターレ)には小学生の頃から通っています。中学生になった今は、体育室をよく利用しています。小学生の頃はよく宿題をしたり、おもちゃで遊んだりしていました。

キ・ターレは、冬は暖かく夏は涼しく、また楽しいイベントが季節ごとに毎年行われます。イベントには、ボランティアとして

参加したこともあります。中でも、「キ・ターレ夏祭り」では、お化け屋敷の企画・運営のスタッフとして、どんなものにするか自分たちで話し合い、実行したこともありました。終わった後の達成感は格別でした。

キ・ターレはいつも楽しいことがいっぱい。気持ちのよい場所になっています。キ・ターレは、私の一番のお気に入りです。



おいでよ！ 女性・子どもセンター

神栖市女性・子どもセンター
館長 山岡 晴美

「子ども達の笑顔のため 頑張っています」

日立市かしま児童館
館長 岩淵 寛行

児童館紹介

つくば市立谷田部児童館
館長 矢口 一幸

神栖市女性・子どもセンターは児童館の施設と生涯学習施設が一体となった施設で、小規模児童館でありながら広いプレイルームを有する総ガラス張り、吹き抜けで開放的な作りの児童館です。一日の平均一般来館数は六十人で館内には放課後児童クラブも併設されていて、毎日たくさんの子どもの元気な声であふれています。

平日午前中は「いつ来ても何か楽しいことをやっているよ！」を目標に少しでも子育てママさんの力になれるよう職員力を合わせて頑張っています。

また長期休業中の小中学生対象に「あそびの会 バージョンUP」として手作りゲームやおもしろ工作などを企画し、毎日飽きずに児童館で過ごせるよう思考を凝らし、今では「先生、今日のあそびの会はなあに？」と楽しみにしてくれる子どもたちもいます。

土日祝日は特に来館が多く時々三〇〇人を超すことも・・・



市内だけではなく市外・県外からの来館もあり、常に来館者が安全・安心・快適に過ごせるよう心がけています。こんな児童館ですが、ぜひ一度「おいでよ！女性・子どもセンター」

日立市の児童館は、市域が南北に長い地理要件等を背景に二館体制で事業を展開してきましたが、社会経済情勢の変化や少子高齢化の進展に伴う保育ニーズ多様化の中で大きく変容したと実感しています。一昨年には地区再整備に伴い、一部機能を残しさえひろ児童館を閉館してかしま児童館一館となりました。

幼児施設等への未就園児には各地に開設された子育て支援センターやおもちゃライブラリーなどが対応しており、児童館事業の主要は、学童対象にシフトしています。各小学校の余裕教室等を再整備し二十四か所で実施する公設(市設置)民営(地域運営協議会)の児童クラブのサポートセンター機能のほか、児童館近隣の一般学童の来館対応、通年(或いは半年程度)で募集する「幼児クラブ」「小学生クラブ」の企画実施、単発実施の「親子教室」「スポーツフェスタ」「クリスマス会」「書道教室」等であるが児童健全育成に向け、職員一丸となり少数精鋭で奮闘しています。



谷田部児童館は、平成六年にできた児童館で、クラブ員二十人、一般児童が六十人/日ほどが利用するにぎやかな児童館です。午前中は、主に母親クラブの親子が遊戯やゲームなどでにぎやかに活動しています。館の行事には、各種工作やワッフル・綿菓子の手作り、ゲームチャレンジなどのほか、スポーツでは、市内児童館対抗ドッチボール大会をめざした練習などで選手は汗を流しています。

そんな中、子ども達の多様性に、驚かされることがあります。私達の目には目立たなかつた女の子が友達の中で周りを常に笑わせる存在だったり、絵や工作には特異な才能を見せる子がいたりと様々です。

今後も、放課後の安心できる居場所として、新たな体験による感動や、刺激ある体験との出会い、友達とのふれあいの中で信頼関係を築けるような場の提供をできればと思います。



神栖市

日立市

つくば市

ようせいそ

児童館紹介

つくば市立栄児童館
館長 片岡 隆

栄児童館は、旧桜村時代の昭和五十八年に開館した児童館です。

開館当初は、放課後児童クラブの利用よりも放課後の遊び場の提供といった色合いが強かったのか、現在クラブ室で使っている部屋も、和室や集会室といった名称で使われていました。昭和五十年代は農村地域であった栄小学校区を考えれば、現在とは違った使われ方をしていたと思います。

今後は、現在進行中の中根金田台の土地区画整理事業との関係もあり、栄小学校の児童数の増加も考えられます。そのため、栄児童館のクラブ員数にどう影響するかを慎重に検討して、施設整備を行っていく必要があると考えます。

現在七十名弱のクラブ員が在籍するには手狭な児童館ですが、「利用者ファースト」の考え方で利用者が過ごしやすい環境の児童館を目指して努力していきたいと思えます。



つくば市

児童館へ

神栖市

土浦市

児童館紹介

神栖市立うすも児童館
館長 樋口 洋子

私たちの児童館は、毎日多くの子ども達が遊びに来てくれており、特に乳幼児のご家庭の利用が多く賑わっています。

神栖市は工業地帯があり、家族で転勤されることが多い地域です。

転勤されてきて寂しさや不安を感じている家庭も多く、また児童館に興味はあるけど、利用まであと一歩踏み出せないといったご家庭を対象に「初めまして！児童館」というイベントを始めました。

普段から初来館の方には、児童館についてのご案内はしていますが、更に月に一回イベントを設けることで、初利用の方が来やすくなるきっかけを作れ、お友達も作りやすくなり、その後も足を運んでくださるようになりました。

児童館を利用したことがない方にとっては、利用していいのかどうかもわからないという方もいらっしゃると思います。なので、今後もっと多くの方に児童館について知ってもらい、子どもの成長に寄り添っていく児童館になっていきたいと思えます。



土浦市立新治児童館は、元々は新治村の児童館でしたが平成十八年に土浦市との合併により、土浦市の児童館の一つとなりました。天気の良い日は宝篋山も良く見え、四季を感じることで自然豊かな児童館といえます。

新治村の時は三歳児の集団生活の場として保育所的な役割が大きかったようです。合併後は本来の児童館の役割といえる「一般親子や小学生に健全なあそびを提供するとともに、新治村の特色を残した短時間保育を併行して行なっていることが最大の特徴であるといえます。また母親クラブの活動も盛んで夏まつりや交通安全キャンペーンでは手作りマスコットを配布し喜ばれております。

一般の親子の行事はハロウィンやクリスマス会などの季節の行事があり特に宝篋山を見ながら食べる「やきいも会」は幼児親子に大人気です。その他親子で楽しく参加できる制作やリズムあそびや誕生会を毎月行なっています。また小学生には夏休み行事のほか月に一回工作教室を開催しており、ゲーム世代の小学生に制作の楽しさを伝えていきます。

昨今少子化に伴い、子ども遊びの環境は大きく変化しており、児童館の在り方が問われるとは思いますが、子どもたちや保護者、小学生が「また遊びに来たい」と思えるように日々職員で話し合っように努力しています。



児童館紹介

土浦市立新治児童館
児童厚生員 小林 暁子



児童館等職員研修会



スキルアップ研修会



一年間の県児連活動を振り返って



研修会に参加して

美浦村立大谷時計台児童館

館長 鶴沢 あさ子

神栖市保健・福祉センターでの児童館職員等研修会に参加、宮本秀樹先生より「集団援助活動」のご講義をいただきました。目的や、目標を共有化している個人が集まり実施している今日のこの研修会も、定義や条件から考えると集団活動であるとのこと。具体的な援助モデルを例に、理論と実践のつながりについて学びました。児童館においても、日常的に集団体験が展開されています。集団の特性を生かしながら、個人一人ひとりの課題やニーズの充足を達成できるか、私達「グループ（集団）」の援助者」の力量が問われるところです。グループ成否のキヤスティングボードを握っているのは、「グループ援助者」。「グループ援助者」自身を知ることが重要ということ、グループで取り組んだ自分を知るための二つの方法である「八つの価値」は、楽しい作業でした。

有意義な研修ができたことに感謝いたします。



子ども達への支援の大切さを学んで

常総市立水海道児童センター

児童厚生員 斉藤 千鶴子

今年度のスキルアップ研修会は県児連の配慮により、受講者が参加しやすいように二会場に分けて開催されました。

演題は「配慮を要する子どもの心理・支援方法」で、二月二十五日は水戸会場に於いて正保春彦先生。二十六日は土浦会場に於いて丸山広人先生の講義でした。

私は土浦会場で受講し、九十人近くの受講者が先生の講義に熱心に耳を傾けていました。アドラー心理学から考える子どものしつけ、発達障害の理解と対応についてなど、具体的な接し方などの事例もふまえたお話は、とても参考になりました。改めて、一人一人の子どもの関係作りに配慮し、支援の大切さや難しさを学ぶことができました。

最後にこのような研修の場を設けて下さりありがとうございます。今後とも日々勉強をしながら、スキルアップにつなげていきたいと思っております。



土浦会場



水戸会場



館長総会



館長研修会

つくば市立上郷児童館

館長 村野 一義

会員の皆様、一年間県児連活動にご協力いただき、ありがとうございます。

また、日頃、児童の健全育成のため現場で体を張って取り組まれている中、時間を作って研修等にご参加いただきましたことに感謝申し上げます。

新任館長の私が、副会長という大役を努めさせていただき、あつという間の一年間でした。この間、役員の皆様、会員の皆様のおかげで貴重な経験をすることができました。会員の皆様には引き続き県児連活動へのご協力をお願いします。

児童館の現状は、老朽化に伴う修繕費等の確保や人材確保、児童の貧困や障がいのある児童への対応など様々な課題がありますが、

「安心の子育て」ともママパパにやさしい社会」の実現のため、会員の皆様と協力しながら児童館事業の充実発展に向け、様々な要望活動やスキルアップ研修を行ってまいります。

結びに、事務局の日頃のご努力に敬意を表し二年間の感謝の言葉とさせていただきます。

人形劇をとおして

茨城県立児童センターこどもの城
所長 中山 香織

八月二十三日今年も人形劇がやってきました。ガイ氏即興人形劇場です。即興で表現の仕方を体験し劇団の一員のようになり、みんなが吸い込まれ、人形劇の表現のすばらしさを感じる事ができた大切な時間。今年も参加者の中から、こどもスタッフをお願いして、受付や司会進行などしっかりと大役を果たしてくれました。今後も、人形劇をとおして楽しい時間と、子ども達の成長を感じる、みんなで作るイベントを続けて行きたいと思っています。

劇の楽しさを体で体験

笠間市児童館
館長 高橋 明美

八月二十日(日)、沢山の方々に来館して頂き、楽しい公演となりました。

第一部の「人形ファンタジー」では、心温まるストーリーで、大人の方達は子どもの頃を思い出し忘れかけていた感覚を思い起こさせてくれ、想像力とは身近に有る事を気づかせてくれました。

第二部「ぶす」では、魅力的な人形劇を楽しみ、リズムカルで笑を誘うストーリーに子ども達も、大満足でした。

「児童厚生二級指導員」資格概要

位置づけ

「福祉は人なり」というとおり、児童館や放課後児童クラブの活動は、職員に資質に大きく左右されます。職員には子ども達への遊びの関わりを通して、子ども自身で課題を乗り越えていく力を引き出すような意図的な援助が求められてきます。

また、地域住民や関係機関をつなぐコーディネーターとしての役割も期待されている現状です。このような様々なニーズに対応できる資質や力量を備えた職員養成を目指す資格制度です。

児童厚生二級指導員(CCS2)

児童厚生員の研修を体系化することにより、児童館や放課後児童クラブの活動の質を全国的に向上させるとともに、その役割や専門性を明確にして一般財団法人 児童健全育成推進財団が認定する資格です。茨城県児連では二級資格に連動した研修を実施しています。

研修科目

児童館等職員研修会は、児童の発達課題や遊びの意義等の理論科目と、具体的プログラム等の技術を習得する実技科目があります。さらに子どもや保護者への適切な援助と支援技術の向上を目指します。

【必修科目一覧表(十三科目)】

1	健全育成論
2	児童館論Ⅰ
3	児童館論Ⅱ
4	児童の発達理論
5	配慮を要する児童の対応
6	安全指導・安全管理
7	個別援助活動
8	集団援助活動
9	地域福祉活動
10	救急法
11	ゲーム運動あそび(実技)
12	表現活動(実技)
13	実技2科目の何れかを選択



平成二十九年児童厚生二級指導員資格認定者

(敬称略)

- つくば市立九重児童館 坂本 佳子
- かすみがうら市児童クラブブルミン 高信 孝江
- かすみがうら市児童クラブブルミン 坂部 正枝
- 足利市梁田こども館 浅宮 あゆみ

永年勤続者表彰

永年勤続表彰制度は、茨城県児童館連絡協議会に加盟する児童館において十年以上児童館職員として活動し、顕著な功績のあった方を表彰する制度です。
平成二十九年度は次の九名の方が表彰されることになりました。

(敬称略)

- 土浦市立ポプラ児童館 来栖 和子
- つくば市立並木児童館 渡辺 幸子
- つくば市立栄児童館 保坂 夏代
- つくば市立桜南児童館 須藤 昌代
- つくば市立竹園東児童館 猪瀬 美由紀
- 神栖市立うずも児童館 五十嵐 千恵子
- 神栖市立うずも児童館 八本 すみ江
- 美浦村立木原城山児童館 新川 美穂子
- 五霞町立こか西児童館 香取 洋子



平成29年度 茨城県児童館連絡協議会 事業報告

実施年月日	事業名	場 所	概 要
29.5.10	通常総会	県立児童センター こどもの城	・児童健全育成活動功労者永年表彰 ・平成28年度事業報告及び決算報告について ・平成29年度事業計画、収支予算(案)について
	館長研修会	〃	・講義 「児童館長の役割を再確認する」 ・講師 埼玉県草加市立氷川児童センター 館長 下村 一 先生
29.5.10	第1回役員会	〃	・平成29年度 事業計画について ・平成29年度 児童館連絡協議会全国会議への意見書について ・平成29年度 第1回児童館等職員研修会について ・平成29年度 共同募金会からの助成金について
29.5.18	全国児童館連絡協議会 都道府県連絡協議会 会議	都市センターホテル	・副会長, 事務員出席
29.5.19	全国児童館連絡協議会 会員総会	〃	・副会長, 事務員出席
29.6.28	第1回児童館等職員 研修会(86名参加)	笠間市児童館	・講義 「健全育成論」 ・講師 茨城県生涯学習・社会教育研究会 事務局長 佐藤 孝弘 先生
			・実技 「表現活動」 ・講師 人形劇 コロン 代表 荒木 文子 先生
29.6.28	第2回役員会	〃	・平成29年度 全国会議について ・平成29年度 児童厚生員等研修計画書について ・平成29年度 共同募金助成金について
29.8.20 29.8.23 29.8.24	児童青少年演劇 全国児童館等巡回 公演事業	笠間市児童館 こどもの城 北守谷児童センター	・第1部: 「人形ファンタジー」 ・第2部: 「ぶす」 ガイ氏即興人形劇場 (396名参加/3館)
29.10.20	第2回児童館等職員 研修会(81名参加)	神栖市保健・ 福祉センター	・講義 「集団援助活動」 ・講師 常磐大学コミュニティ振興学部 准教授 宮本 秀樹 先生
			・実技 「ゲーム・運動遊び」 ・講師 県子ども家庭課居場所づくり推進アドバイザー 武藤 幸枝 先生
29.10.20	第3回役員会	〃	・平成29年度 全国児童館等巡回公演事業 実施報告について ・平成29年度 第3回、4回児童館等職員研修会について ・平成29年度 スキルアップ研修会について ・平成30年度 全国児童館等巡回公演事業について
29.11.15	第3回児童館等職員 研修会(51名参加)	県立児童センター こどもの城	・実技 「ゲーム・運動遊び」 ・講師 茨城県キャンプ協会 キャンプディレクター 綿引 里紗 先生
			・講義 「児童館論Ⅱ」 ・講師 鎌倉女子大学児童学部 非常勤講師 豊倉 厚 先生
29.12.7	第4回児童館等職員 研修会(168名参加)	つくば市立 荃崎交流センター	・講義 「個別援助活動」 ・講師 常磐大学コミュニティ振興学部 准教授 宮本 秀樹 先生
			・講義 「配慮を要する児童の対応」 ・講師 県子ども家庭課居場所づくり推進アドバイザー 武藤 幸枝 先生
29.12.7	第4回役員会	〃	・機関誌「ひまわり」について ・スキルアップ研修会について ・平成30年度 役員体制及び館長総会/館長研修会について ・平成30年度 事業計画について
30.1.25	スキルアップ研修会 水戸(54名参加)	茨城県 総合福祉会館	・講義 「配慮を要する子どもの心理・支援方法」 ・講師 茨城大学大学院 教育学研究科 教授 正保 春彦 先生
30.1.26	スキルアップ研修会 土浦(77名参加)	土浦市 亀城プラザ	・講義 「配慮を要する子どもの心理・支援方法」 ・講師 茨城大学大学院 教育学研究科 准教授 丸山 広人 先生
30.3.	機関紙発行	〃	・機関誌「ひまわり38号」 500部発行

☆平成29年度役員☆

- ・会 長 中山 香織 (県立児童センターこどもの城)
- ・副 会 長 村野 一義 (つくば市立上郷児童館)
- ・書 記 齊藤 千鶴子 (常総市立水海道児童センター)
- ・研修委員 鶴沢 あさ子 (美浦村立大谷時計台児童館)
- ・研修委員 古屋 芳子 (土浦市立都和児童館)
- ・会計監査 井上 亨 (ひたちなか市立那珂湊児童館)
<事務局>
- ・事務局長 鈴木 宏樹 (県立児童センターこどもの城)
- ・事 務 員 綿引 初江 (県立児童センターこどもの城)